

絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)

選定要件 ⑥

クシロカワモズク

Kumanoa kushiroensis (Kumano & Ohsaki) F.R.Nan, J.Feng & S.L.Xie

カワモズク目 カワモズク科

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 形態 雌雄同株。粘性が強い。長さ 4.5cm、密に不規則に分枝し、青みを帯びた緑色。
- ❖ 分布の概要 北海道釧路湿原がタイプ産地となっている。ほかに奥州市胆沢川に記録がある。
- ❖ 生育状況 止水域の水中の維管束植物や巻貝に付着する。
- ❖ 脊威 湿原開発、乾燥化など。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014)

(鈴木 まほろ)

絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)

選定要件 ⑤

ユタカカワモズク

Sirodotia yutakae Kumano

カワモズク目 カワモズク科

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 形態 青みを帯びた濃緑色で、長さ 2~10cm、太さ 150~250 μm。密にやや不規則に分枝する。配偶体は秋に出現し、晩春に消滅する。
- ❖ 分布の概要 岩手県の複数箇所と新潟県、兵庫県で記録されている。現在、岩手県では確認されていない。
- ❖ 生育状況 湧水の流れる小流の石などに付着する。
- ❖ 脊威 水質汚濁、水路改修など
- ❖ 特記事項 滝沢市にある春子谷地と、「龍ヶ森」で福田裕が採集した標本をもとに、瀬川宗吉が記載した(1939年)。龍ヶ森は八幡平市にある同名の山地と考えられているが、詳細は不明。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014)、2. 瀬川宗吉 (1939)

(鈴木 まほろ)

絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)

選定要件 ⑤

イシカワモズク

Torularia atra (Hudson) M.J.Wynne

カワモズク目 カワモズク科

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 形態 緑色あるいはほぼ黒色、長さ 4cm まで、太さ 120~240 μm。不規則に分枝する。
- ❖ 分布の概要 北海道、本州(青森県~兵庫県)で記録されている。岩手県では盛岡市に記録がある。
- ❖ 生育状況 堀や池など、止水域での記録が多い。
- ❖ 脊威 県内の分布状況や現状が不明のため、判断できない。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014)、3. 熊野茂ほか (2002)

(鈴木 まほろ)

絶滅危惧 II 類 (VU)

選定要件 ②

カワモズク

Batrachospermum gelatinosum (L.) DeCandolle

カワモズク目 カワモズク科

環境省 絶滅危惧 II 類

- ❖ 形態 雌雄同株。輪生枝は融合し、球形や樽形。太さ 257~972 μm。配偶体は秋に出現、晩春に消滅する。
- ❖ 分布の概要 本州、四国、九州に分布する。岩手県内の複数箇所で確認されている。
- ❖ 生育状況 湧水、湧水に入る水路に生育する。
- ❖ 脊威 水路の整備、水質汚濁など。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014)

(鈴木 まほろ)

絶滅危惧 II 類 (VU)

選定要件 ②

ホソカワモズク

Paludicola turfosa (Bory) M.L.Vis & Necchi

カワモズク目 カワモズク科

環境省 絶滅危惧 II 類

- ❖ 形態 雌雄同株。粘性は中くらい。やや硬く、長さ 2.5~5cm、太さ 300~1000 μm。偽二叉にまばらに分枝。
- ❖ 分布の概要 北海道、本州（岩手県～広島県）に分布する。岩手県では八幡平から記録がある。
- ❖ 生育状況 高地の湿原と低地の湧水湿地など、止水域に生育する。
- ❖ 脊威 湿地開発など。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014)

(鈴木 まほろ)

絶滅危惧 II 類 (VU)

選定要件 ②

アオカワモズク

Virescentia helminthosa Bory

カワモズク目 カワモズク科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 分布の概要 北海道～沖縄に分布する。滝沢市春子谷地で確認されている。
- ❖ 生育状況 流水中に生育する。
- ❖ 脊威 水路の改修など。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014)

(鈴木 まほろ)

準絶滅危惧 (NT)

選定要件 ②

タンスイベニマダラ

カクレイト目 ベニマダラ科

Hildenbrandia jigongshanensis F.R.Nan & S.L.Xie

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形態 淡水性紅藻類。
- ❖ 分布の概要 本州、四国、九州、琉球に分布する。岩手県内では遠野市、山田町、陸前高田市などで記録されており、生育地は少なくないと推測される。
- ❖ 生育状況 河川源流部や、清冽な河川・水路の底の岩盤や石に膜状に固着して生育する。
- ❖ 脊威 水路の改修、水質汚濁など

(鈴木 まほろ)

コウゼンジカワモズク

Sheathia abscondita Stancheva, Sheath & M.L.Vis

カワモズク目 カワモズク科

環境省 準絶滅危惧

- ❖ 形態 過去にチャイロカワモズクとして記録されていた種。雌雄異株。
- ❖ 分布の概要 北海道、本州、四国、九州に分布する。岩手県内では滝沢市春子谷地、遠野市、宮古市などで記録されている。
- ❖ 生育状況 湧水に入る流水中に生育する。
- ❖ 脅威 水路の改修、水質汚濁など。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014)

(鈴木 まほろ)

情報不足

オオイシソウ

オオイシソウ目 オオイシソウ科

Compsopogon coeruleus (Balbis ex C.Agardh) Montagne

環境省 絶滅危惧 II類

- ❖ 形態 淡水性紅藻類。青緑色の糸状体で不規則に分岐し、太さ 1～3 mm、長さは 10～80cm。
- ❖ 分布の概要 世界の温帯～熱帯に広く分布する。国内では北海道～琉球に広く分布する。岩手県には記録がないが、分布する可能性がある。
- ❖ 生育状況 浅い水流中の底の石や水生植物などに付着する。
- ❖ 脅威 水路の改修など。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014)

(鈴木 まほろ)

情報不足

シャジクモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Chara braunii C.C.Gmelin

環境省 絶滅危惧 II類

- ❖ 分布の概要 世界各地に分布し、国内にも広く分布する。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 生育状況 湖沼や水田などに生育する。
- ❖ 脅威 護岸整備、圃場整備、自然遷移、農薬の使用など。
- ❖ 文獻 4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)

情報不足

ケナガシャジクモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Chara fibrosa C.Agardh ex Bruzelius subsp. *benthamii* (A.Braun) Zaneveld

環境省 絶滅危惧 I類

- ❖ 分布の概要 アジア、オーストラリア、アフリカに分布する。国内では本州、四国、九州に分布する。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 生育状況 湖沼、ため池、水田に生育する。
- ❖ 脅威 水質悪化、管理放棄、農薬の使用など。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014) 、4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)

情報不足

カタシャジクモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Chara globularis Thuill. var. *globularis*

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 分布の概要 世界各地に分布し、国内では北海道、本州、四国、九州に分布する。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はなく、現状は不明。
- ❖ 生育状況 湖沼、ため池に生育する。
- ❖ 脅威 水質悪化、管理放棄、農薬の使用など。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014)

(鈴木 まほろ)

情報不足

マガリフラスコモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Nitella crispata Imahori var. *crispata*

環境省 なし

- ❖ 分布の概要 本州、四国に分布する。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 文獻 4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)

情報不足

ハリバフラスコモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Nitella crispata Imahori var. *stricta* Imahori

環境省 なし

- ❖ 分布の概要 岩手県に記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 文獻 4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)

情報不足

ハナビフラスコモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Nitella erecta Imahori

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 分布の概要 本州以南に分布するが、近年は記録がない。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 生育状況 池、水田、小川に生育する。
- ❖ 脅威 水質悪化、管理放棄、農薬の使用など。
- ❖ 文獻 1. 環境省 (2014) 、 4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)

情報不足

ヒメフラスコモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Nitella flexilis (L.) C.Agardh var. *flexilis*

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 分布の概要 世界各地に分布する。国内では沖縄県を除く各地に分布する。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 生育状況 ため池、湖沼に生育する。
- ❖ 脅威 水質悪化、管理放棄、農薬の使用など。
- ❖ 文獻 4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)

情報不足

キヌイトフラスコモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Nitella gracilis (Smith) C.Agardh

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 分布の概要 世界各地に分布する。国内では本州、四国、九州に分布する。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 生育状況 主にため池に生育する。
- ❖ 脅威 管理放棄、農薬の使用など。
- ❖ 文獻 4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)

情報不足

ニッポンフラスコモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Nitella japonica Allen

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 分布の概要 東アジアに分布する。国内では本州、四国、九州に分布する。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 生育状況 主にため池に生育する。
- ❖ 脅威 水質悪化、管理放棄、農薬の使用など。
- ❖ 文獻 4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)

情報不足

ナガフラスコモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Nitella orientalis Allen

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 分布の概要 アジア、オセアニアに分布する。国内では本州、四国、九州に分布する。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 生育状況 ため池、湖沼に生育する。
- ❖ 脅威 水質悪化、管理放棄、農薬の使用など。
- ❖ 文獻 4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)

情報不足

ハデフラスコモ

シャジクモ目 シャジクモ科

Nitella pulchella Allen

環境省 絶滅危惧Ⅰ類

- ❖ 分布の概要 中国に分布する。国内では本州、四国、九州に分布する。岩手県にも記録があるが、シャジクモ類の専門家による調査事例はごくわずかであるため、現状は不明。
- ❖ 生育状況 ため池、湖沼に生育する。酸性の強い水質を好む。
- ❖ 脅威 農薬の使用、水質悪化など。
- ❖ 文獻 4. Imahori (1954)

(鈴木 まほろ)